

## 第 11 回 北東アジア OSS 推進フォーラム 議長声明

2012 年 11 月 13 日

オープンソースソフトウェアは、オープンコミュニティの努力に導かれ、IT イノベーションにとってのみならず社会基盤にとっても、益々、これまでになく必需の(※vital: 命に関わるほど必要な)ものとなってきました。また、日中韓の産学官の智恵、知識および経験を集成した 8 年間の OSS 推進活動によって力づけられてきました。OSS の時代に一石を投じた 2004 年のフォーラム設立から、日中韓、アジア領域及び世界規模で、OSS 開発の貢献量や OSS 普及の急拡大において、大きな成長をしてきました。

4 つのワーキンググループ (以降 WG と称す) は、「北東アジア各国・地域の投資と才能ある人材が牽引する、世界の OSS コミュニティと産業の持続的な成長により、開かれた世界を実現する」という、フォーラムのゴールを追求してきました。WG1 は「技術開発・評価」を、WG2 は「人材育成」を、WG3 は「標準化・認証研究」を担当しています。また、WG4 は「適用推進」の共同作業を担当しています。WG の現在進行形で進められている協調しての努力が、10 年を刻む歴史を通じて大きな成果を作り上げてきました。これらの WG は、オープン性と革新性のある様々な実例を通して、OSS 技術と OSS 哲学への実践的な支援を提供すると共に、政府の政策も継続的に共有してきました。

北東アジア OSS 推進フォーラムは今年で 11 回目の開催となります。ここに議長として、日中韓の協調作業を通して OSS 推進を促進することを宣言します。

以下に、主たる結論の概要を示します：

WG1:

2006 年に開始させた、Crackerjack Project は、Linux カーネルの回帰テストフレームワークを提供することで、カーネルの安定性、堅牢性、セキュリティなどの継続的な向上を目指すものです。Crackerjack Project は、最新の 3.3 版を 2012 年 10 月にリリースしました。WG1 は、このプロジェクトが、Linux カーネルの安定性に貢献するものと信じ、Crackerjack Project を卒業させることに合意しました。

我々は、中日、中韓、日韓におけるクラウドプロジェクトを開始するため、2012 年 3 月から議論し、3 回の中国・韓国会合、2 回の日本・韓国会合、6 回より多い (※7 回以上) の中国・日本会合を行いました。2011 年 12 月から、韓国は 3 社より多い (※4 社以上の)、中国は 5 社より多い (※6 社以上の) 社数の IT 企業が中国・韓国クラウド・コンピューティング・パイロットプロジェクトに参加しました。そして、中国・韓国企業は、クラウド適用産業としての教育領域とヘルスケア領域に身を投じます。同時に、日本・中国クラウドプロジェクトは、中国内クラウドデータセンターにおけるクラウドシステム監視/管理として出発しました。最初の日本・中国の活動は、2012 年 8 月に日本・中国企業がデータセンターのためのシステム監視管理ソリューションの展示を Qingdao International Software Convergence & Innovation EXPO において行うことでした。日本・中国は中国で

ータセンターベンダーと、中国でクラウドコンピューティングソリューションを採用する日本企業との間で会議を開きました。日本・韓国は、クラウド・コンピューティング技術を共有し、ビッグデータ・プラットフォームとビッグデータ・プラットフォームに基づく産業用アプリケーション・ソリューションでの協力関係を模索しています。

WG1 はクラウド・コンピューティング技術プロジェクトを各2カ国の間で、ねばり強く続ける考えです。そして WG1 は、共通の貢献を共有するとともに、クラウド・コンピューティング、モバイル・インターネット、Internet of Things, ビッグデータ技術とスマートシティの分野で、OSS に関係した技術協力の可能性の研究を行います。

#### WG2:

2012 年、WG2 は、NEA OSS サンプルカリキュラム 3.0 の開発を継続します；これは最初のドラフトが Wiki を通じて行われ、OSS コミュニティからの提言やコメントを集めて完成される予定です。サンプルカリキュラム 3.0 は、2013 年に出版する予定です。また、NEA OSS サンプルカリキュラム 2.2 を 2012 年に出版します。さらに、OSS の人材開発を推進するために第 7 回日中韓 OSS 貢献賞と第 5 回特別貢献者賞を授与しました。日中韓の OSS 開発のパイオニアが、沖縄の第 11 回北東アジア OSS 推進フォーラムの OSS トレーニングキャンプにおいて、多くの OSS 学習者、技術者およびその他の OSS 愛好家を引きつける、知識と経験を伝える時間をとります。さらなる OSS 人材開発の強化、教材の共有、トレーニングの推進と相互認証をすすめるほか、制度化された OSS トレーニングキャンプの設立の議論を共同して行っていきます。

WG2 は、世界の OSS 人材の認証システムの研究を最初のステップとして実行します。また、地域 OSS 開発者を刺激して、グローバル OSS コミュニティにおいて活発な役割を果たすように助けるために、日中韓のグローバル開発者を支援する活動を始めます。

#### WG3:

2011 年から 2012 年に WG3 は新規プロジェクト“OSS 成熟度アセスメント”を開始し、300 以上の人気のあるプロジェクトについて OSS 成熟度アセスメントを完了した。2012 年には、WG3 は OSS の品質を様々なプロジェクトを比較評価できる OSS 成熟度アセスメント・リポジトリの開発を完了させ、OSS アセスメント・リポジトリ：**RepOSS** の最初の公開を行った。本WGは、OSS 成熟度アセスメント方法論の開発をおこない、2012 年末までに OSS 成熟度アセスメントの事例を提供する予定である。これに加え、韓国は OSS 成熟度アセスメントをもとに T T A (Telecommunications Technology Association) 標準：“OSS Categorization and Profile”を定義した。本WGは、ユーザからのフィードバックを元に **RepOSS** のユーザビリティを引き続き向上させていく。

OSS の応用と採用を加速させるため、北東アジア OSS 推進フォーラムが **RepOSS** を必ず推進することを、WG3 は請求する。

#### WG4 :

北東アジア OSS 生態系を確立するために、WG4 は、特定の OSS 実装のターゲットフィールドの選択と計画策定を遂行しました。輸送、緊急災害防止、医療健康、農業およびその他のエリアにわたって、いくつかの計画が、過去数年にわたり、パイロット・プロジェクトとして提案されてきました。3 国は、市場調査を実施し、輸送分野を最初のパイロット・

プロジェクトのターゲットとして選定しました。オブジェクト システム 形態論と、パイロット・プロジェクトがさらなる活動の推進につながるための、特定提案の内容開発を、決定するために、輸送分野の市場研究を将来実行する予定です。

加えて、産業レベルにおける日中韓の協力を望ましい環境を作るために、OSS 関連技術とサービスが明示されるべきです。我々は、協力して日中韓の OSS 企業の索引作成を推進します。

WG4は、継続して応用モデルと市場環境の研究を遂行し、アプリケーション移行の経験を交換し、協力してビジネスイノベーションの推進と、サービスモデルのイノベーションをすすめます。同じく、日中韓の企業間の交流と協力を推進します。

全ての参加者が世界に広がる OSS コミュニティと価値を共有し、日中韓の政府・企業・教育機関や個人の偉大なる努力に大いに感謝します。フォーラムは、日中韓と他のアジア地域における IT 産業の成長をめざし、OSS 生態系を拡大してきました。さらに、OSS コミュニティのメンバーとして、開かれた世界を拡大し豊かにしていくことを、ここに宣言します。

フォーラムは、ガイダンスコミッティを、なるべく早く開催準備することに合意しました。

第 12 回北東アジア OSS 推進フォーラムは、私たちの OSS 推進活動 10 周年となる記念すべき 2013 年に韓国で開催いたします。